

# 上高地スノーハイキング

山行日 2022年3月26日(土)~27日(日)

メンバー LK た、SLN崎、A ぎ、T 中、A 原、N 村、W

コース 【3/26(土)】新松戸 6:10-西国分寺 7:07/7:12-立川 7:19/7:21 (特急あずさ1号)-松本 9:38

※松本市内観光：松本城、四柱神社、開智学校、中通り

【3/27(日)】松本バスターミナル 7:55-中の湯 9:13/9:30-釜トンネル入口 9:37-上高地 トンネル  
10:30-大正池 11:10/11:20-田代橋 12:10/12:30-大正池 14:50/15:00-中の湯  
16:00/16:30-坂巻温泉前バス停 17:00/18:07-松本バスターミナル 19:23 松本  
20:10 (特急あずさ60号)-新松戸



ホントはコロナ禍前の夏合宿で上高地を訪れ、穂高や槍ヶ岳…クラシックルート(なんて素敵な響き♪)からの霞沢岳にチャレンジしたかったのだけれど、無念の中止。以来、頭の片隅にありながら行けなかった上高地に、ひょんな事から行くことができました。初日はあいにくの天気だったけれど早々に松本入りして観光三昧。たくさん歩き回ってよく見てよく食べ、よく呑んだ!

2日目のスノーハイキングは、前日とは打って変わって風もなく快晴、雪景色の穂高連峰を堪能することができた。いつまで眺めても飽きない風景を、思う存分に眺めることができた贅沢な時間。やっぱりあそこまで行ってみたい…そんな欲がムクムクと出てきた。その時はまた、よろしくお願いします。

楽しく2日間を共にでき感謝の気持ちでいっぱいです。皆さんからひと言ずついただきました。(K た)

●暗いトンネルを抜けると眩い穂高連峰が飛び込んできた。誰しものが感激するシーンです。自然のままの雪原を歩き回れる自由さはこの季節にしかない。サルの群れも真似しています。河童橋に近づくにつれ吊尾根がドンドン大きくなって昨日の雪でテカテカに光っています。

(N 崎)

●真っ白に輝く穂高の岩峰を見上げながら、上高地の雪原を一步一步、踏みしめる。

この景色が見たかった。

数年前、山を始めたいと思ったのは、夏に河童橋から見たこの景色が美しかったから。

いつかあの山に登ってみたいと思ったから。

心の奥から湧き出てくるぞくぞくする感情に、いつの間にかこんなに山が好きになったのだろう、とあらためて思った。初心を振り返ることができて、リーダー、サブリーダーに感謝いたします。(A 柳)

●冬季閉鎖のトンネルを越えて行く面白さ。トンネルを抜けると絶景です。いつもは人で一杯の上高地が、ひっそりと佇んでいる様子も新鮮でした。雪を被った山々に登るのではなく、眺めに行くというのもステキでした。(A原)

●上高地を訪れるのは2019年の夏合宿の槍ヶ岳登山以降コロナ禍で実に3年ぶりでした。又いつもなら釜トンネルからバスターミナルまではバスで通過してしまうが、今回は釜トンネルから河童橋まで道路を外れて梓川沿いや大正池あたりをワカンを装着して、雪化粧した焼岳、前方にはだんだん迫ってくる穂高の山容をじっくりと楽しみながらの散策でした。天気も快晴、到着した河童橋はいつもの混雑した喧騒もなく、我がグループの独り占めとなり、途中すれ違う登山客は数組と少なくとも静かな散策となりました。帰り道ではお猿さんが目の前で逃げもせず毛づくろいをしたり木の皮？を食べていたので思わず「もうじき春だね」と声をかけてしまいました。先週の上阿山に続き2週連続のワカン装着雪山トレーニングをすることが出来ました。帰りの列車は皆さんそれぞれの指定席です。お弁当を頂きながらワインをちびりちびり？いやいや炭酸で割ってごくごくとボトル一本を頂きながら無事松戸に帰宅した次第です。リーダー、サブリーダーそして参加の皆さん楽しい散策有難うございました。(N村)

●初めてのワカン体験。ワカンは沈まずに楽々歩けるのかと思いきやそんなことはなく、踏み扱きはしないものの沈む、沈む。『足の裏に神経を集中して』との先輩のアドバイスに今一度気を引き締めたのでした。お天気に恵まれ、静かで雄大な自然を満喫できて楽しい山行でした。(T中)

●26日はあいにくの雨模様で風雨の中市内観光をしました。翌日27日はお天気は良く昨日の天気がウソのようでした。トンネルを抜けるとそこには雪の穂高岳が、とても綺麗です。こんな中で行けたことに感謝です。(W部)

